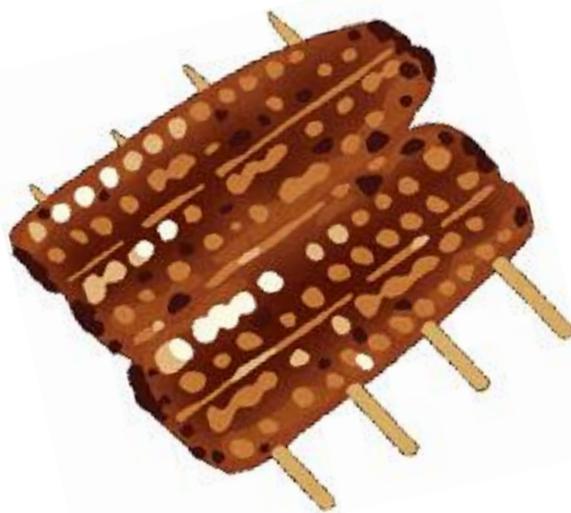


今年の土用の丑の日は7月25日と8月6日。  
この日にうなぎを食べるといふ風習はおよそ250年前頃から続いているとされており、暑い夏を乗り切るためにその後習慣化したようです。

### 土用の丑の日とうなぎ



#### ◆なぜうなぎが食べられるようになった？

土用の丑の日にうなぎを食べるようになったのにはいくつかの説があるといわれています。

#### ◆うなぎを食べるようになったのには諸説あり

もっとも有名なのは平賀源内説です。  
これは細かな違いがありますがおおよその流れは、以下の通りです。

#### 平賀源内説

- 知り合いのうなぎ屋が夏に売れないうなぎを何とか売るために源内に相談したところ、源内は「本日丑の日」と書いて店先に貼ることを勧めました。するとそのうなぎ屋は大変繁盛したので、他のうなぎ屋もまねをするようになり、土用の丑の日にうなぎを食べる風習が定着したといわれています。

実際に「丑の日」と書かれた貼り紙が効力を奏した理由は定かではありませんが、一説によれば元々「丑の日に『う』の字が付く物を食べると夏負けしない」という風習があったと言われ、鰻以外の食べ物（瓜、梅干、うどん、うさぎ、馬肉（うま）、牛肉（うし））などを食べる習慣もあったようです。他にこのような説などもあります。

#### 春木屋善兵衛説

- 土用に大量の蒲焼の注文を受けた鰻屋、春木屋善兵衛が、子の日、丑の日、寅の日の三日間に作り、土甕に入れ保存しておいたところ、丑の日に作った物だけが悪くなっていなかったという説があります。

#### 丑=鰻二匹説

- 平仮名で墨汁を使って毛筆で書いた「うし」と言う文字が、まるで2匹のうなぎのように見えたからという説も・・・。

